



保小中だより

郷原地区保小中連絡協議会

令和6年度事務局 認定こども園 郷原保育所

幼保連携型認定こども園 昭和第2園ココロ

令和6年10月29日(火) 発行



地域の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は郷原地区教育活動推進のためにご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、保小中連絡協議会総会におきましては、民生児童委員、小・中学校の学校評議員、学校関係者評価委員の皆様方にもご参加いただき、地域における子どもの様子や気づき、認定こども園・小学校・中学校に対する貴重なご意見をいただき、交流することができました。

今年度も本協議会は郷原地区の子どもの健全な育成を目的に郷原地区にある認定こども園・小学校・中学校の保育士、保育教諭、教職員が会員となり、相互に連携協議や行事交流を実施してまいりました。子ども同士の交流はもちろんのこと、活動の様子を保護者や地域の方にご観覧いただき、一緒に活動することもできました。

今後はこれまで行ってきた連携を更に深めながら“郷原っ子の健やかな成長”を願い、協議及び連携に取り組んでいきたいと考えています。今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜り、本協議会が一層充実したものになりますよう、よろしくお願いいたします。

郷原地区保小中連絡協議会会長 迫田 歩

上半期に実施した主な取組

小学校授業参観日
(保育所・ココロの先生の参観)



中学校体育大会



小学校運動会
(保育所・ココロの参加)



小学校のプール体験
(保育所・ココロの参加)



いらっしゃい1年生
(ココロ)



いらっしゃい1年生
(郷原保育所)



キャリア・スタート・ウィーク
(中学校2年生職場体験)



郷原保育所の活動参観
(小中学校の先生の参観)



ココロの活動参観
(小中学校の先生の参観)



【総会報告】

令和6年度郷原地区保小中連絡協議会総会を、令和6年8月1日(木)に郷原まちづくりセンターで行いました。認定こども園・小学校・中学校の教職員と民生・児童委員、小・中学校の学校評議員、学校関係者評価委員の皆様方にご参加いただき、郷原っ子いきいきプラン（自律をめざして）に沿って、4分科会に分かれて協議を行いました。

『重点目標』

異年齢集団が協働する体験を通して、ボランティア精神、リーダーシップ、協調性、責任感、充実感、楽しさを味わわせる。

郷原っ子いきいきプラン（自律をめざして）

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される所・園・校
保育所 保育園		聞く力・話す力の基礎を育む	基本的生活習慣の自立	しっかり食べよう	元気よくあいさつをしよう
	乳児	～自分の気持ちや欲求を伝えよう。 興味のある話を聞き楽しもう～	～自分のできることをしよう～	～いろいろな食材の味を知り、意欲的に食べよう～	～周りの人々に関心を持ち、あいさつを返そう～
	幼児	～話す人の方を向いて聞こう。 自分の思いを伝えよう～	～自分のことは自分でしよう～	～食べることを通して元気な体をつくろう～	～その場に合ったあいさつを元気よくしよう～
小学校		聞く力・話す力を育む。	社会性の定着を図る。	自ら健康づくりに取り組む児童を育む。	自らあいさつをする児童を育む。
		～書いて思考を深め、自分の言葉で伝え合おう～	～相手や周りの人の気持ちを考えて行動しよう～	～進んで、健康づくり・体力づくりをしよう～	①自分から ②相手の顔を見て ③立ち止まって、あいさつしよう
中学校		聞く力・書く力を高める。	社会性の向上を図る。	健康や体力への自己管理意識を高める。	あいさつで地域とつながる。
		～自分の考えを持ち、相手と伝え合いながら、考えを深めよう～	～集団の一員としての自覚を高め、相手にとってうれしい行動をしよう～	～目標を立てて、生活習慣・運動習慣を身につけよう～	～自分から立ち止まって笑顔であいさつをしよう～

下半期の交流事業

中学校文化活動発表会	中	10月12日 (土)
保小中クリーン活動	全	10月25日 (金)
郷原町文化祭	全	10月26日 (土) ～27日 (日)
新堂平神社祭礼	全	11月 3日 (日)
学習発表会児童鑑賞日	保小	11月11日 (月)
中学校文化活動発表会鑑賞会	小中	12月 実施予定
郷原町民ロードレース大会	全	12月 7日 (土)
新1年生お楽しみ交流会	保小	2月 4日 (火)

保小中連絡協議会総会（令和6年度8月1日）の記録

第1分科会「確かな学力」 テーマ：聞く力・話す力

保育所・園	・乳児期から読み聞かせを行っている。 ・人の話を聞く前に「自分の話を聞いて」と主張することが多い。保育者が間に入って相手の話を聞く態度を育てている。
小学校	・R6 年度全国学力学習状況調査の結果で、R5年度よりも国語科・算数科共に学力の向上が見られた。知識・技能は他県よりかなり高い。一方で思考力・判断力・表現力に課題がある。
中学校	・生活習慣に課題がある。特にゲームの時間の割合が高く、連動して平日の学習時間が短い。 ・聞くことができにくい生徒が中学生にもいる。学習時間が短く、ゲームの時間が長い生徒が増えた。しっかり聞いてから話すことができない生徒がいる。 ・朝読書は集中する時間として継続的に取り組んでいる。 ・話し合う時間を取っても会話が深まらないことが多い。語彙力や経験が不足している。
全体	・ゲームの時間など家庭でのルールが守れない家庭が多くなっているのではないか。仕事をしていたり、友だち関係を考えたりするとダメと言いづらい。 ・YouTubeなどに夢中になる児童・生徒が増加している。 ・保育園等で何かに続けて遊び込む子どもが減った傾向がある。すぐに飽きて、違う遊びをする。 ・じっくり考えず、手早く答える方がよいという傾向がある。 ・粘り強く何かに取り組んだり、じっくり調べたりしない。「分かった」という喜びの体験が減っているのではないか。 ☆「聞いてもらっている」という安心感があって「話せる」。しっかり話を聞く機会を持ちたい。 ☆バーチャルではない本当の体験の一つでも多くさせる。 ☆今は話すとき、今は聞く時、ということ、小さい頃からどの学年でも繰り返し取り組んでいることが大切。 ☆自分自身を伸ばしたいと考える子どもを育てていきたい。地域で支えていきたい。

第2分科会「豊かな心」 テーマ：自立と社会性

保育所・園	・セルフコントロールができる子どもの育成。 ・豊かな心、他人を思いやる心、道徳心、自然や美しいことに感動する心という心を育てる保育をしている。 ・言葉かけの内容を見直した。先生の指示がないと行事を行えないではなく、子どもが主体的な行動をとれるようにしている。 ・子どもの言葉をよくきいて保育者が理解し、子どもにやらせるのではなく子どもが考えて行動することを目指している。
小学校	・社会に出て困らないよう、あいさつ運動などを通して、あいさつをする、時間を守る、ルールを守るよう指導をしている。 ・道徳であいさつと返事の違いを話し合った。あいさつは自分からすること、返事は先生に返すこと。
中学校	・なぜ、あいさつが大切なのかを考えさせる。 ・4月の1年生は恥ずかしくてあいさつができなかった。数をこなして慣れていくよう取り組むとあいさつができるようになった。
地域	・自立と自律について。自立はほかの人の助けを受けずに自分でできること。自律は自分が決めたルールで自らの行動をコントロールすること。 ・子どもたちが豊かな心をつくるために自分で考えて行動できることを目指していく。 ・ありがとう、ごめんなさい、愛しているの3つが大事な言葉。そのうえであいさつの大切さを伝えていく。 ・あいさつなど、子どもの良い行動を地域や家庭に伝わるよう発信していく。

第3分科会「健やかな体」 テーマ：食育・体力づくり

◎食育	
保育所・園	・毎年、年長が前年度の年長からもらった種を植えて野菜（ピーマン、ナス、キュウリ、トウモロコシ等）を育てている。種から種への命の繋がりを大事にしている。 ・給食について、年中、年長はバイキング形式で行っている。自分で量を調節してつぐことで、自分が食べられる量を把握できるようになったり、残食が減ったりしている。 ・給食の先生が魚の解体ショーを行った。実際に鰻を1匹さばいて体の中を見ることで、命の大切さやありがたみを感じることに繋がった。 ・無理矢理食べさせることはせず、食事を楽しむことを大事にしている。「一口食べたらすごいね！かっていいね」と声かけをする等、友達の力や大人が褒めてくれる環境を大切にに取り組んでいる。
小学校	・年に一度、栄養教諭が栄養に関する指導を行っている。 ・生活リズムチャレンジカードの6月の結果は朝ご飯を食べている児童が100%だった。
中学校	・年に一度、栄養教諭が栄養に関する指導を行っている。 ・今年度から給食がスタートした。メニューは小学校と同じ。
◎体力づくり	
保育所・園	・ゲームやYouTubeを見る子どもが増えていて、体力が落ちている。 ・暑くて外で遊ぶのも制限されている（30分）。 ・頭と体をフルに使って遊ぶリズム遊びも行っている。
小学校	・新体力テストでは、県平均と比べると体力が上がっている。重点3項目も72%を超えている。特にシャトルランの結果が良かった。握力と上体おこしの結果がよくなかったので、2学期以降取り組んでいく。
中学校	・毎日の宿題で体力づくりを行っている。 ・運動部の生徒以外は体育しか運動する機会がなく個人差がある。
全体	・暑くなってきて外で遊ぶことが減っている。 ・スマホやYouTubeやゲームをする時間が増えている。 ・泳力△→6年生でも25m泳げる児童は半分程度。コロナで水泳学習がなかった影響があるのかもしれない。

第4分科会「信頼される所・園・校」 テーマ：あいさつ・地域とのつながり

保育所・園	・顔を見て、目を見て、先生の方からあいさつをする。 ・まずは保護者にあいさつをする。日々の積み重ねにより、年長の頃になると子どもたちもあいさつができるようになる。 ・散歩のときには、地域の方にもあいさつをするように事前にお約束している。 ・いきいきサロンに参加して地域の方と交流している。
小学校	・「㊦かるく ㊩つも ㊤きに ㊩づけて」をキャッチフレーズに取り組ませている。 ・あいさつ名人をクラスから選出してバッジを贈呈し、頑張っている児童を認めている。 ・郷原音頭のご指導や交通安全指導、総合的な学習の時間のゲストティーチャーとして地域の方に協力していただいている。
中学校	・分離礼（あいさつ→礼）に取り組んでいる。 ・成長による照れもあるかもしれないが、あいさつが自分からできる生徒、言われてからする生徒の二極化である。
地域	・郷原音頭のご指導や職場体験学習、草刈り等、様々な場面で協力していただいている。 ・小学生よりも中学生の方がやはり照れがある印象であるが、以前に比べるとあいさつがよくできるようになっている。 ・畑作業中やゴミ捨て場では、あいさつだけでなく、「大丈夫ですか？」「お手伝いしましょうか？」等と声をかけてくれる生徒もいる。 ・学校や家庭と一緒に地域としても「子どもたちを守る」意識で協力させてもらう。